

## 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 大垣桜高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和6年 6月13日 (木) 13:30~15:30
- 3 開催場所 大垣桜高等学校 校長室
- 4 会議の構成 学校運営協議会委員

会 長	中川 智臣	大垣市墨俣地域事務所 所長
副 会 長	堀 あゆ美	岐阜県社会福祉協議会 生活支援部 課長補佐 (欠席 後日意見書提出)
会 員	高木 久	墨俣一夜城 (歴史資料館) 館長
	西川 守	リバーサイド笠松園デイサービスセンター 在宅介護課 マネージャー
	日比野 有規枝	墨俣児童館 館長
	水谷 聡美	育友会長
学 校 側	宮田 慶美	校長
	篠田 和宏	事務長
	瀬下 裕基	教頭
	郷 絵美	教務主任
	芝山 玲子	生徒指導部長
	香林 誠一	進路指導部長
	高橋 路子	家庭・福祉部長

### 5 会議の概要

(1) 授業参観・施設見学

(2) 校長挨拶

・教育指導の重点及び学校経営計画

(3) 学校側説明

・各分掌説明 (教務部、生徒指導部、進路指導部、家庭・福祉部 その他)

・令5年度 生徒の活躍

(4) 意見交流

意見1 授業参観で生徒の元気な様子を見ることができた。授業でICTを活用している様子も分かった。地域に密着した学校として、今後も活発にSDGs等の取組を頑張ってもらいたい連携もしていきたい。

意見2 快適な環境で学習できており良い。交通事故件数を聞いたが、ヘルメット着用の生徒を少ししか見かけないので、着用率を上げるため保護者にお願いするなど

するとよい。

意見3 実習の受け入れをしているが、当校の生徒は、即戦力として働ける知識・技術か身に付いている。遅刻をしないなどの基本的なこともできている。今後も漢字や計算などの基礎力をしっかりと付けてほしい。

意見4 実践を通して学ぶ姿が良い。ICTも使いこなしている。情報モラルに関する学習を幼い頃から始める必要性を感じた。人間として不可欠な衣食住について学んでいることに教師も生徒も誇りをもってほしい。墨俣児童館での子どもとのふれあいにも是非参加してほしい。

意見5 身だしなみや校則などのルールを保護者がしっかり理解できていない。規則を保護者が知ることによって保護者から声をかけることができる。子ども時代に喧嘩を自分で解決していない子どもも多く、自己解決力に乏しいと聞くので、見守る姿勢も必要である。

意見6 学年が上がる毎に専門科目が増えている。当校でしか学ぶことのできない内容に引き続き力を入れるとともに、基礎学力の定着も期待する。

コロナ禍で中止や縮小していた学校行事等も新たな方法を確立する時期に来ている。生徒主体の運営を大切にしているので、今後もそのような取組を期待する。

## 6 会議のまとめ

第1回学校運営協議会では、全委員より今年度の本校の学校運営基本方針について承認が得られた。

今後も、地域から愛され協働して目標達成に向けて行動できる地域の担い手となる生徒を育てるべく魅力ある学校づくりを推進していきたい。